

山梨市

こども屋内運動遊び場
施設整備事業

2024.10

担当課：こども・子育て課

1 背景

こどもの健やかな成長過程において「遊び」の体験は心身を育てるためには欠かせない行為です。子どもは「遊び」から社会性や柔軟性、コミュニケーション能力などさまざまなことを学び、人間として成長を遂げます。大人がこどもの「遊び」の大切さを理解し、社会全体で遊ぶ機会を保障することが重要となります。（こども大綱「遊びや体験活動の推進」）

しかし、近年、気候変動や防犯上こどもが外で遊ぶことが困難になりつつあります。また、こどもの育ち及び子育てをめぐる環境は、核家族化、地域のつながりの希薄化や、共働き家庭の増加など、社会や経済の環境の変化によって子育て世代の子育てに対する負担や不安、孤立感が高まっています。

山梨市では、こども家庭庁が推進する「こどもまんなか」の趣旨に賛同し、令和5年10月に「こどもまんなか応援サポーター」宣言を行い、こどもや子育て世代に優しいまちづくりを目指し、こどもや子育て世代が抱える課題や問題の解決に取り組んでいます。

また、第2次山梨市まちづくり総合計画において、「お腹の中から一生涯安心の山梨市」を掲げ、「子育て、子育てを支える環境整備」の取組の一つとして、こどもやその保護者が安心して安全に遊びや運動ができる屋内運動遊び場の整備を計画しています。

2 基本コンセプト

本施設は、『第2次山梨市まちづくり総合計画』に基づき、予てより子育て世代から要望があった天候に左右されず安全にこどもが、遊びや運動を通じ健やかな成長を育む機会の場の創出として、屋内型の運動遊び場を整備する。

その整備にあたっては、年齢に応じた遊具等を創意工夫しながら遊ぶことで、子どもたちのチャレンジ精神、好奇心を刺激し、幼児期の成長に必要な基本動作を引き出すことができる遊び場の提供、こどもが遊びを通じた交流を行うことで社会性や協調性を育む機会を創出する施設であることを基本とする。

3 施設機能及びゾーニング

こどもが、遊具や玩具等を活用し、その発達状況に応じた遊びや運動を安全に行うことができるような動線を意識し、以下のとおりゾーニングを行う。

■ エリアコンセプト（ゾーニング）

- ① 0～2歳程度の赤ちゃんが安心して『はいはい』や、視覚・聴覚・触覚などの感覚を刺激する遊びエリア
- ② 3～6歳程度の未就学児が社会性や創造性を育むための『ごっこ遊び』や『ブロック・積み木遊び』などのおもちゃ遊びエリア
- ③ 4～12歳程度の幼児期の成長に必要な基本動作である『走る、跳ぶ、投げる』や学童期の多様な動きを年齢に応じた遊具を駆使し運動することができる遊びエリア
- ④ 幼児が安全に外遊びを行うことができるエリア

4 利用者の範囲

本施設を利用する範囲は、0歳から12歳（小学生）までの乳幼児・児童等とその保護者とする。また、子育て世代に優しいまちとして本市の魅力を市外へも発信していくため、対象者の範囲に市外者も含めるものとする。

5 施設構造等

■ 構造

本施設の構造については、『平屋建て』とし、ゆったりと木のぬくもりを感じ、遊びの時間を楽しむことができる空間を創出する。また、施設を利用する全てのこどもが安全に安心して遊ぶことができるためのバリアフリー化を確保するとともに、『山梨市地域再生エネルギー導入戦略』に定める省エネ化・ZEB化の推進基準を満たし、環境負荷の少ない施設とする。

■ 規模

本施設の延床面積については、『600㎡程度』を基本とし、以下の要件を考慮した規模を想定する。

- ① エリアコンセプトに定める各エリアの空間を確保すること。
- ② 運動する遊びエリアでは、こどもが走り回ることを想定し、全てのこどもが安全に遊びに集中できるよう、ある程度余裕をもった空間を確保すること。
- ③ 各エリア間の安全性を確保するため、通路又は仕切り壁等の対策ができる空間を確保すること。
- ④ 運営に必要な受付・事務所やロッカー、トイレ、授乳室、倉庫等のほか、利用者の交流及び休憩スペース(軽食等の飲食可)、子育てに関する情報提供スペース、また相談室などのエリアを確保すること。